

無料版

9月号

ユーストカー NEWS

毎月1日発行

第53号 定価 540円 (本体500円・送料別途)
本社 東京都新宿区高田馬場3-23-3 ORビル6階
☎03(3371)9340 FAX 03(3371)9596 www.u-car.co.jp
本紙の無断転載・複製を禁じます

購読・広告のお申し込みは

☎03-3371-9340

発行所 (株)ユーストカー (株)ユーストカードットコム

中古車輸出

総力特集

仕向国規制一見 だからあの車は高かった

本紙先月号でお知らせした通り、われわれは中古車輸出情報に特化したタブロイド版「ユーストカー輸出相場版」を創刊する。10月のリリースに向け、現在は準備作業の佳境を迎えた状況だ。このタブロイドは中古車輸出に関するいわばデータブックで、最新の輸出車相場情報や仕向国の輸入規制変更など、中古車輸出に欠かせない情報をいち早くお届けするもの。そこで本紙では前号に続いて中古車輸出に関する「勘所」をお知らせするほか、「輸出相場版」の一部データも公開。業界人でも明るくなかった中古車輸出の世界にスポットを当て、ひも解いてゆきたいと思っている。
(取材協力: (株)ソウイング代表取締役社長 中尾 聡)



本紙8月号でお伝えした通り、中古車輸出は中古車流通に大きく影響しているにもかかわらず、実態は非常に見えづらい。大方の業界人は年式が低かったり、あるいは過走行のほすなのに、中古車オークション(AA)で高値で取引されるクルマに対して「きつと海外に行くんだろう」と想像する程度だろう。

また、中古車の仕向国を調べても、輸入ルールが明らかでない国が多く、しかもルールが突然変わるものが珍しくないため、実態をつかみきれない難しさがある……というのは、先月号でお知らせした通り。だからこそ、われわれは中古車輸出の解明に取り組み、ひも解きをするため、別冊

タブロイド紙
「ユーストカー輸出相場版」いよいよ発刊
リリース前に先行公開

《4面》



好評連載

人気モデル「解体新書」

メルセデスベンツGクラス

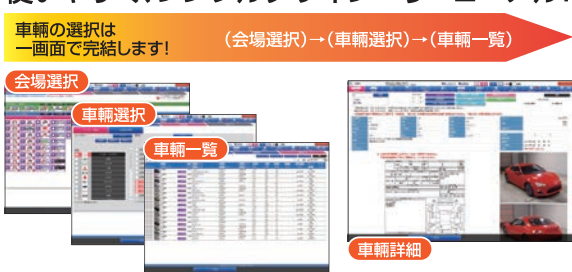
失敗から学ぶ社員育成術

《2面》

「今日は金庫を頼むよ…編」

アイオークに新機能がさらに追加!

使いやすく、シンプルデザインへリニューアル!



新搭載 アタックアラーム登録機能



好評!! 一発落札のお知らせ機能



※新規入会特典!※

～まずは3ヶ月間、入会特典価格でおためしください～

通常月会費 6,800円(税抜)のところ
2,800円(税抜)

リアル利用料
通常ログイン
1週間あたり
1,500円(税抜)のところ
無料

ご入札1台ごと
300円(税抜)の入札料が
無料

全国132市場から仕入れが可能!
リアル接続会場数は業界No.1の78会場!(2017年5月時点)

株式会社 アイオーク

〒102-0075 東京都千代田区三番町8-1
TEL.03-3512-6123
FAX.03-3512-6110

詳しくは
アイオーク

《1面からの続き》

「輸出相場版」を来月10月に創刊する。

今号においては輸出相場版の一部を抜粋し、中古車輸出相場をどのよう

に判断するか、考え方をお伝えしたい。なお、輸出相場版では、輸出仕向け国の上位20カ国について、詳しい情報を掲載していくが、今回はそのうち上位10カ国について紹介するとともに、輸出相場版で掲載する一部主要車種のダイジェストを21〜23面に載せたので、こちらもご覧いただきたい。

税金による事実上の「輸入規制」

先月号のおさらいだが、輸入規制には年式規制がもつともポピュラーで、具体的には製造年と初度登録年月の二つがあることを、もう一度お伝えしておく。

左ページの「中古車輸出仕向け国トップ10」のうち、規制の欄で、どの国がどんな規制を設けているかを明記しているのを、参考にしていただきたい。ちなみにロシアやモンゴル(確認中)、タジキスタンなど、製造年でも登録年月でも規制しない国も存在する。

ロシアに関しては、様々なところで「規制はない」と伝えられているが、実際には製造から3年から5年落ちまでの車

の輸出が集中していることが明らかになった。このため「製造年規制があるのでは？」との声も聞かれたが、深く調べてゆくと、実は税制において、この期間に製造された車が優遇されていることが判った。

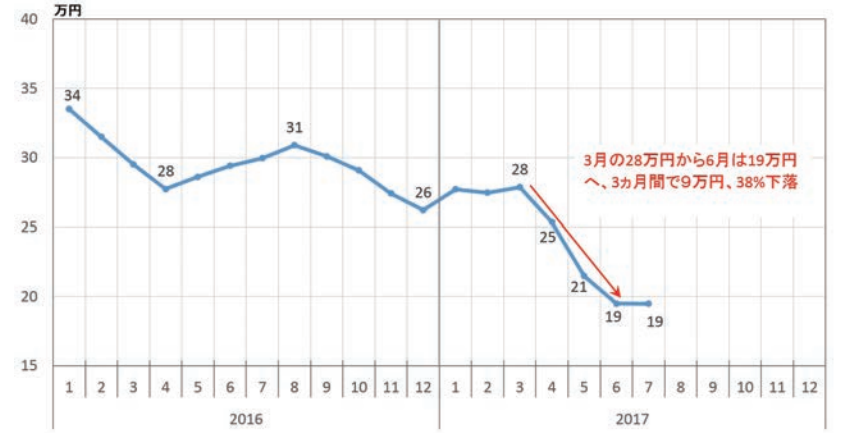
税制についてももうひとつ、仕向け国の税制変化が国内相場に影響した例を紹介しよう。今春、モンゴルの税制変化(税率アップ)で20系プリウスが売れなくなった件だ。低年式車だったため影響は限定的だが、それでもAA相場は今年3月の27万8000円から6月の19万4000円へ、率にして30%も価格が急落した。

以上のようなことから、輸出に行く/行かないだけを判つてもダメで、事実上、規制と同等といえる仕向け国の税制まで知っておかなくてはいけない。

規制は年式(製造年/初度登録年月)が重要だが、加えて規制ではないけれど、税率が高いのでこの年式は行きにくい、という事実があることも、勉強しないと痛手をこうむることになる。「行こうと思えば行けるけど、高くつくから行かない」……こんなことがあるというのを、学ばなければならぬだろう。

なお、税制は急に変わることがあるので、われわれの商売に大きな影響

NHW20 プリウス AA 出品台数と平均価格の推移 (2016~17年)



があるにも関わらず、判りづらい。

そこで、税制も含めて輸出相場に影響を与える仕向け国の変化をできるだけ早く察知するため、われわれは主要仕向け国

に「輸出相場版」において、調査対象の仕向け国を上位20カ国まで拡大。輸入ルールや関税を観測し、変化があったらきつちりお届けしたい。

事故修復歴車は本当に輸出できないか? 話しは戻って、規制については年式とは別に、

るので、その後にくら仕上げても輸出のチャンスはない。こんな事情から、R点車は敬遠されてしまうのだろう。

だが、輸出できるR点車を見極めることができると、利益アップにつながる。ここで輸出に関しての検査を具体的にみてみよう。

ニュージーランド(NZ)とケニア、タンザニア、ウガンダは、24面の表の通り、輸出前検査は比較的厳しいものとなっている。輸出前検査が通れば、あとは問題無し、

と言いたいところだが、仕向け国において、さらに輸入検査がある場合が多い。とくにNZの検査は厳しいらしい。

NZの場合、輸入検査で錆(サビ)や修復不十分箇所の指摘があると、現地の指定業者に現地の定める方法で、再修理を依頼することが義務付けられている。このため、その再修理費用を誰が払うかで、日本のシッパー(輸出業者)とNZのコ

ンサイニー(荷受人/輸入業者)の間で、もめる事があるという。このような実態があるゆえに、行く/行かないの話が複雑になっているのであろう。

事情通の輸出業者は、この部分でうまく利益を上げており、どこまでのダメージがOKなのかを

話したがらない。それは当然といえば当然だろう。

逆に、バンゲラデッシュやスリランカ向けの輸出前検査は「目視」だけ。ボンネットを開けて覗くだけ」という噂も聞かされた。

今まで「R点は輸出できない」という話は、色々ところから聞こえてきていたが、今回、輸出車両の検査を調査した結果、その話はハナシが

ハナシと呼んだ一緒くたの情報として「拡大解釈」されたもの、と考えて差し支えないだろう。

R点よりもむしろ気を配りたいのが、NZとケニア向けの錆(サビ)の有無だ。NZの場合、明確な基準がないため判断が難しいのだが、おおむね広がり幅10mmを超えた錆は不可とされる。

また、発生部位も重要で、パネルの接合部やフレームの穴まわり、サスペンションマウント部など、錆が進行すると安全性が脅かされる部位を中心に、厳しく検査されるという。

NZとケニア向けでは、錆があると輸出できないことがある。つまり、評価点付き車両無し事故車でも錆によっては輸出できない、ということだ。とくにNZは2005年車まで輸出可能なだけに、錆の確認には神経質になった方がよさそう。

については、輸入を禁止している国は意外に少なく、上位10カ国ではNZだけのようだった。

以上、ここまで読んでお気づきのよう、AA検査での修復歴判定と、事前の検査を要求する仕向け国での輸出前検査による修復歴、そして受け入れ国で実施する検査の修復歴は違うもの、ということを知っておいていただきたい。

さて、3面に掲載した表組のうち、UAEとチリ、南アフリカの欄をご覧いただきたい。この3カ国は、基本的に日本から中古車を輸出できない。理由はUAEが右ハンドル車の輸入禁止、チリと南アフリカは中古車輸入そのものを禁止しているからだ。

では、なぜ相当数の中古車が日本から輸出されているのか。ご存知の方も多と思うが、この3カ国が中古車の中継地点だからだ。UAEとチリは国内に自由貿易ゾーンを設けており、日本を含む海外からの中古車の売買が盛んに行われている。

その中古車が最終的にどこへ行くかというところは内陸国のボリビアとパラグアイのみ。だが、UAEと南アフリカは

最終仕向け国の情報も鋭意収集

《24面へ続く》

JU 神奈川

9月21日(木) 10時30分セリスタート

年間最大イベント!!

24時間搬入OK

9月16日(土) ~ 21日(木)

新会場オープン23周年&全7支部&ディーラー協賛スペシャルAA

JU 神奈川 神奈川県小田原市成田 1042 TEL 0465-37-3751

中古車輸出仕向国 主要10カ国の輸入規制と主な輸出車

(本紙調べ、8月28日現在)

順位	仕向国	1~6月の累計輸出台数	備考	ハンドリング規制		製造年規制	登録年規制	その他規制	主な輸出車種
				左	右				
1	UAE	74,364	タンザニア ソマリア エチオピア イエメン アフガニスタン イラク イラン サウジアラビア インド パキスタン ケニア ウガンダ 南アフリカ アンゴラ 南スーダン ※ UAEへ輸出された車両の多くは 上記のアフリカ諸国や中東へ再輸出 されるが、左ハンドルなどは UAE への輸出可能	○	× 再輸出の ための DUCAMZ (フリー ゾーン) 輸入は規 制なし	なし	なし	<排気ガス/騒音> 湾岸協力会議(GCC)仕様を満たしていること ■再輸出のための DUCAMZ 輸入は規制なし <メーター改ざん車輸入>○ ■ DUCAMZ 内への再輸出車両も含め可 <事故車輸入>○ ■ DUCAMZ 内への再輸出車両も含め可	■ハイブリッド/プラグインハイブリッド(200系) ■ ■ ■
2	ニュージーランド	70,084		×	○	■なし 排気ガス基準規制により 2005 年前生産車実質不可		<排気ガス> ■型式コードの最初の7桁に基づき確認。 <安全> ■前面衝突安全性能基準(2003/10/3)以降に日本で国内 向けに製造された車両は NZ 前面衝突安全性能基準適 合 ■横滑り装置の段階的導入 <メーター改ざん車輸入>× <事故車輸入>△ 修復歴車には日本の輸入検査の段階で7桁が立つ。NZ 側での輸入検査で NZ 基準によって修理の必要あり	■グイップ(SCP90) ■ ■ ■
3	ミャンマー	53,698	■日本からの中古車輸出は2017年 で終了?	年式、ハンドリングの種類 による	△	<代替ハンドリング> ■乗用車 ・1350cc以下:2011 ~17年(15年~左ハ ンドのみ) ・1350cc以上: ■トラック:2007~14年 (右ハンド可) <フリーハンドリング> ■		有料版では、モザイクの部分を読んで 頂く事ができます。 お申し込み19面、または 電話03(3371)9340まで	■ハイブリッドトラック(S200P) ■ハイブリッドトラック(S211P) ■ハイブリッドトラック(S500P) ■
4	チリ	50,047	ボリビア パラグアイ ※チリに輸出された車両はボリビア とパラグアイに再輸出	-	×	-	-		■ ■アリオン(ZZT240)
5	ケニア	36,346		×	○			<排気ガス規制> ■ケニア基準局(KEBS)の排気基準に準拠 ■目視検査で濃い青煙または黒煙不可 ■一酸化炭素0.5%(重量)以下 ■炭化水素0.12%(重量1,200ppm)以下 <メーター改ざん車輸入>○ ■AA出品票などの数値と実際の走行数値に矛盾がない こと ■日本で輸入検査会社が定期的にサンプルを抽出、NG車 が発生するケースあり <事故車輸入>○	■カーファイナル(NZE141G) ■ ■ ■
6	パキスタン	36,283		×	○	■乗用車2WD: ■乗用車4WD:製造年 から5年以内 ■商用車:		<メーター改ざん車輸入>○ <事故車輸入>○	■ランドクルーザープラド (TRJ150W) ■ ■
7	南アフリカ	30,370	ジンバブエ ボツワナ ナミビア ザンビア ※南アフリカへ輸出された車両の多 くは上記のアフリカ諸国へ再輸出						■フィット(GD1) ■ ■
8	ロシア	27,409		○	○	なし	なし	<排気ガス規制> ■Euro2(ヨーロッパ)で1996年1月、新車採用) <その他規制> ■緊急通報機器(グロスステップ)設置義務 ■放射線測定検査 <メーター改ざん車輸入>○ <事故車輸入>○ ■自走可能であること	■プリウス(ZVW30) ■ ■
9	モンゴル	24,651		△ハンド リング左 のみ○	○	なし	なし		■プリウス(NHW20) ■
10	タンザニア	20,891		○	○	なし	なし		■ハイブリッド(100系) ■ ■



50th ANNIVERSARY

おかげさまでTAAは50周年





北海道会場 0123-28-8700
中部会場 059-366-2810

東北会場 024-963-0388
北陸ヤード 076-238-3711

仙台ヤード 022-390-0125
近畿会場 072-826-3486

関東会場 043-246-5211
広島会場 082-437-2600

北関東ヤード 027-257-0613
四国会場 0875-56-2400

横浜会場 045-628-6000
九州会場 0942-41-2266
南九州会場 0995-54-1511

トヨタ・オート・オークション インターネットサービス **TC-web** 詳しくはHPへ <http://taacaa.jp/>

より一層
ご愛顧いただける
AA会場を目指して

早耳情報



フィリピンで輸入検査スタート?

今回、取材を進めているなかで大きなニュースが飛び込んできた。フィリピンは自国の自動車産業育成のため、商用車以外の中古車輸入を禁止しているのだが、8月、突如として中古車の輸入検査が始まった。

同国の中古車輸入規制は不明瞭な部分が多く(本紙連載「そこが知りたい中古車輸出」今年5~6月号参照)、実際には様々な手を使って行なわれていたようだ。例えば書類と実車で重量が異なるなど、デタラメの横行に業を煮やした現政権が、ついにメスを入れたものと推測されている。なお、検査料は送り状(インボイス)最初の1通が日本円換算で約5万円、2通目からは2万5000円という。

日本から輸出されるトラックの半分がフィリピン行きといわれるだけに、もしも検査開始がマジメになる事が本当であれば、相場に影響を与えることは必至。今後は同国へ行けなくなる車が出てくる可能性がある。今後、トラック相場は要注意といえそうだ。

中古車主要仕向け国 輸出前検査の有無

国名	内容	備考
UAE	-	
ミャンマー	-	
ニュージーランド	厳しい	錆の有無も重視
チリ	-	
ケニア	厳しい	錆の有無も重視
パキスタン	-	
ロシア	-	
南アフリカ	-	
タンザニア	厳しい	
ジョージア	-	
フィリピン	-	
バングラデシュ	目視	
モンゴル	-	
シンガポール	-	
スリランカ	目視	
ジャマイカ	-	
ウガンダ	厳しい	
マレーシア	-	
フィジー	目視	
アフガニスタン	-	
ボツアナ	-	
トリニダードトバゴ	-	
キプロス	-	
香港	-	
モザンビーク	目視	

※「-」は検査なし

3面からのつぎ
 アフリカおよび中東の各国に行っている。主な再輸出先は表の通りだが、これが全てではない。われわれは、これら第三国も調査し、順次「輸出相場版」で紹介していく予定だ。なぜなら、最終仕向け国の輸入規制や税制、そして現地のトレンドがわからないと、日本の中古車相場に与える影響が判らないからだ。

このため、左ハンドルの中古車に限って門戸を開いているUAEについては規制内容を記したが、やはり終着点となる国の制度を知らない、中古車輸出相場を理解したところにはならないだろう。UAEの再輸出先として記したタンザニアやケニア、パキスタン、アフガニスタンは、日本から多数の中古車が直接、送られている。現地の輸入業者が2つのルートを通じて使っているのか。また、中古車輸入を禁止しているのは南アフリカに、UAE経由で中古車が輸出されているのはなぜか。これらの疑問についても順次、ひも解いていく予定だ。

読者の皆様の商売にプラスになれば幸いだ。ご期待いただきたい。

車輸出相場を解説した20カ国の規制、税制を

一覧で掲載し、変化があればその詳細を都度お伝えしていく。規制や税制の変更による「行く/行かない」は輸出中古車相場に大きな影響を与えるので、21~23面のような一覧を主要車種において、全16ページに渡ってお届けする予定だ。

また、今後は現地特派員を設置し、各国のトレンドも紹介していく予定。単なる輸出相場の分析に止まらず、中古車輸出の全体像をお届けしたい。

輸出相場が手に取るようにわかる!



月刊「ユーストカー輸出相場」版申込書

17/9

<掲載内容>

- 輸出上位20カ国の規制と税制の一覧と変化速報(「行く/行かない」の変化をお伝えします)
- 仕向け国の日本人気動向(現地の人気車種の変化をお伝えします)
- 主要輸出車種相場一覧(輸出車種の相場の変化と「行く年式/行かない年式」の理由を詳細にお伝えします)

全16ページ カラー B5タブロイド判

(ページ数は前後する場合があります)

一冊2,000円(税別) × 12か月 + 送料1,410円 = 27,330円

(ユーストカーNEWS購読の方には送料はかかりません)

今号の輸出相場情報のさらに詳細情報と多車種の輸出相場を網羅したタブロイド紙になります
 全16ページ カラー B5タブロイド判 (ページ数は前後する場合があります)

創刊号は500部限定で印刷。申し込みは今すぐに! 以下①~④のいずれかの方法で!

①お電話で申し込みの場合 03-3371-9340 今すぐ TEL!

②FAXで申し込みの場合 03-3371-9596 すぐ FAX!
 この部分をコピーして

必要部数	御社名	③スマホでQRコードを読み込んで専用フォームからの申し込みも可能です! http://u-car.co.jp/regist5
	ご送付先住所 □□□-□□□□	
TEL	FAX	携帯電話番号
ご担当者部署	ご担当者様名	④ e-mail に上記項目を記入して送信 mail: ucn@u-car.co.jp



大好評!! 過去1年以上オークション出品歴のない車両が多数出品! 2つのEX、魅力の成約率!!

売切りEX & トレタマEX